

場から見ることができたため、とても人気が高いのです。1月3日も朝6時49分に日が昇つていきました。太平洋に面した九十九里浜を180度眺めながら、水平線から出た太陽は海面上を風呂場に向かって陽を一直線に運んでくれますから、まぶしく美しいものでした。ここでも食事はおせち料理のバイキングでしたが、タラバガニの脚やツメが山盛りに置かれていたので、大人気でした。

隣のテーブルの4、5歳の男の子が「おじいちゃん、もうお腹いっぱい！苦しいよ！」と言っている。祖父母、両親と子供連れなのでしょう。子供はおせち料理の他にプリンやアイスクリームなどを食べたものと思えます。祖父母は孫の頭を撫でながら、「そう、よかつたね！」と笑っている。微笑ましい。幸せそのものの家族風景でした。

42年たつても「舟唄」を聞くとあの熱い夜  
で指を絡ませる。命の火が激しく燃えた。  
を思い出す。

この映画には3度も「舟唄」が使われた。  
この唄を歌われた八代亜紀さんが昨年  
12月30日に73歳で亡くなられた。「演歌の  
女王」の若すぎる死は彼女のファンの多く  
が悲しんでいる。1979年末の紅白歌合  
戦の大トリでこの唄を熱唱する姿もテレ  
ビの追悼番組でよく見かける。あのハスキ  
ーボイスがなければ、セリフに実感が伴わ  
なかつたろうと思う。女性刑務所で聴きた  
い歌手の希望をとると、多くあがるのが八  
代亜紀さんの名だった。それで始めた慰問  
公演は数十年に及んだ。東北を大津波が  
襲つたときも、故郷熊本が激震に揺れたと  
きも、被災地に駆けつけ歌で励ます姿が印  
象に残っている。彼女を追悼して「舟唄」を  
聞いて欲しい。

◆次号からジョークサロン(東京)会員の吉永さんに「セ・ロム エッセイの森・リレー」エッセイを執筆のお願いについて。

吉永さんから「緊張。不安です。私で大丈夫でしょうか?」

編集長「大丈夫です。野本浩一変集鳥の推薦ですので」

吉永「かしこまりました。ジョークは大好きなのですが。(笑)」

編集長「お住まいはどちらですか?」

吉永「長崎生まれの、チバリーヒルズ(千葉県)在住です。(また、いろいろなアドバイスに)

吉永「ジョークもダジャレも、反応が速い!!のが面白いですね。うふふ。エッセイ、頑張ります。」

おられる典型的な方です、と。◆正月3が日今年は初めて夫婦ふたりの正月となりました。孫4人のうち、誰かが食べにくると思っておせち料理を多く頼んだのですが誰も来ず、苦労しながら食べました。しかし、幸いにも家から1時間弱で着く九十九里の国民宿舎サンライズホテルを1月2日、3日予約することができました。孫が正月に来ないことが判ったので、12月30日に「ダメもと」でホテルに問い合わせると、「一部屋空いています」とのこと、ラッキーでした。

賞千恵子さんのこのシーン「駅 STATION」が大好きである。倍賞さんは「私の履歴書」でこのように書いている。

健さんとは「遙かなる山の呼び声」「駅 STATION」でも共演する。私が「駅」で演じたのは居酒屋を独りで切り盛りする女将。忘れもしないワンシーン。大みそかの晩、私は看板を下ろした自分の店で紅白歌合戦を見ながら健さんと熱燐を呑む。優しく肩を抱かれ、一人だけで過ごす静かで濃厚な時間。テレビから流れてくる八代亜紀さんが歌う「舟唄」…。「あ、い

◆こんにちは。ご連絡ありがとうございます。父(注・多田行宏君と佐藤編集長とは大学時代の友人)は、元気になり老健施設に入っています。

UTAーンで香川に戻った20代の若者がいるのですが、直島で農業をしています。その繋がりで、私も直島にはご縁ができました。2年前、彼らに、私の知り合いの香川大学の地域マネージメントの原教授を紹介しました(「かがり火」発行人の菅原歓一さんが香川にいらしたときも、その原先生を

北海道は大雪だと連日こちらのニュースで報じられています。どうか暖かくお過ごしくださいませ。◆本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。このお正月は本当に心が痛むニュースばかりでしたね。香川県は本当に地震が少ないと、移住して驚いたことを思い出します。（3・11以降、東京は日常的に地震があつたので）イラストを清書してみました。いかがでしようか。文章の方は先日のものでOKです。たくさんアドバイスをいただきありがとうございました。



吉田勝昭（千葉県千葉市）

# コミュニケーション広場

# 縄のれん式 “囲ぬ裏”

◆平和な社会が実現せず多難の年も間もなく終ります。そこで、佐藤編集長との出会いで充実の歳となりました。青木先生に感謝です。卓上四季！佐藤愛子さんが百歳とは知りませんでした。瀬戸内寂聴さんのように、臨終停年でいいのではないかと思いまます。

認知症とは、無縁の一生を送りたいものです。赤煉瓦倉庫楽しみですね。明治の建物は人の郷愁を誘う拠り所。興味津々です。どうぞ良いお年をお迎え下さいませ。

荒井節子（東京都渋谷区）

<p>◆「致知」に私の名前が 今週の初めに、旧友や天風会の幹部 ら、「おい、凄いじゃないか！『致知』に君 名前が出て、田中真澄先生が褒めてく っているぞ！」と電話やメールで知られて れました。びっくりでした。そういうえば、 オーリーワンの 存在価値を目指して生きる</p>	<p>◆「致知」に私の名前が 今週の初めに、旧友や天風会の幹部 ら、「おい、凄いじゃないか！『致知』に君 名前が出て、田中真澄先生が褒めてく っているぞ！」と電話やメールで知られて れました。びっくりでした。そういうえば、 <b>人生百年時代</b> を生きる心得</p>	<p>第十八回 田中真澄</p>

この数日、私のホームページのアクセス数が上がっているのです。いつもの場合は、有名人が亡くなつた場合にはアクセス数が上がるのですが、今回は違つています。

早速「致知」12月号を読むと、社会教育家の田中真澄先生が「人生百年時代を生きる」と出して、サブタイトルを「オンラインの存在価値を目指して生きる」で掲載してくれていました。内容は、これからの中高齢者は自分の得意を生かした仕事を手にするために、何か世間にアピールできるオンラインリーウンの能力の持ち主になつておくことが求められます。その例として推挙したいのは、「私の履歴書」研究家の吉田勝昭氏です。吉田氏は「日本経済新聞」で最も人気のある名物コラム「私の履歴書」を題材として、自身の人生（第一回）から、ま

◆明けましておめでとうございます。  
旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

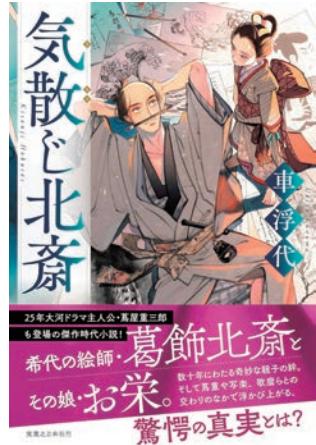
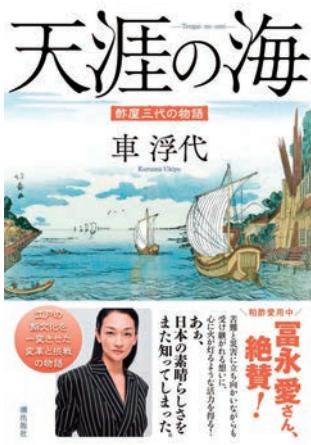
柘いつかは昨年3月、神楽坂から埼玉大学の近くに事務所を移転致しおかげさまで作家生活20周年を迎えることができました。

北海道の車専門誌『Carpi

cel home』にて『いつかの東京通信』から『いつかの世界通信』にタイトルを変え、連載6年目となりました。

車 浮代は江戸風キッチンスタジオを今春オープン予定です。

昨年末には『天涯の海 酢屋三代の物語』が潮出版社より文庫化され、2月1日には実業之日本社から書き下ろし小説『気散じ北斎』が発売されることが決まりました。



また、2025年のNHK大河ドラマが『べらぼう〜葛重栄華乃夢嘶〜』と発表され、おかげさまで葛重栄華三郎に関する講演や関連書籍のご依頼を多数いただいております。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

### 柘いつか／車浮代（埼玉県入間市）

## 能登半島地震

◆正月早々の能登地震 私は七尾に5年滞在し 七尾朝飯会の仲間など多くの知人がおり 老舗店の土蔵崩壊など被害を受けていますが 大半の人とは電話連絡とれず 情報の大切さを痛感しています。

JALの事故 全員脱出した18分 日常の訓練の成果であり 奇跡と称賛されるでしょう。安心・安全の尊さを 世界平和に結びつけたいものです。

小倉光雄（埼玉県川口市）

◆昨年、日本名産紀行で私たちがお世話になった方々を始め、能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

### 柘いつか／車浮代（埼玉県入間市）

◆皆様 新年明けましておめでとうござりますと、心から言えない状況ですね。大きな地震の時には、我が家は全員家にいて

皆無事でした。

ただ、日々目にする能登半島を中心とした被害の大きさに驚いています。余震もひっきりなしに続いています少しでも早い復興を願うばかりです。

◆おはようございます。ここは、ここ何日か全く揺れの無い状態が続いています。ただ、能登一帯は頻繁に余震が襲っています。また、ずっと雪や雨にたたられているよう

です。

悩ましい状況ですね。富山も、完全に安心する状況にはないよう感じています。

なので、今回の原稿「セ・ロムエッセイの森」はどうしても震災がらみとなってしまいまして。P.S.: 余震がなければ、1月19日から31日まで札幌、長丁場です。

### 八尾稔啓（富山県射水市）

2024年春  
OPEN!

in 江戸料理文化研究所



# 車浮代の江戸風キッチンスタジオ

埼玉大学からすぐ（個別にお知らせ致します）。 T&F 048-673-3015

9平方メートル(約5畳)のコンパクトなスタジオです。

竈はハリボテですが角火鉢で炭火が使えます。

板戸と障子戸は入れ替え可能。竈の位置は移動できます。